

第二十一回帝國議會 衆議院 相續稅法案外一件委員會會議錄(速記)第五回

會議

明治三十七年十二月十五日午前九時五十五分開議

出席委員左ノ如シ

立川 雲平君	石川 清君	湯山 壽介君
北村 左吉君	山本 繁造君	磯部 四郎君
關 直彦君	須見 千次郎君	清水 隆德君
伊夫伎 資弼君	木村 格之輔君	阿部 德三郎君
中村 清一郎君	武内 美代吉君	山口 達太郎君
竹田 千代足君	北島 具雄君	澤田 寧君
關 春茂君		

出席政府委員左ノ如シ

大藏省主税局長 若槻禮次郎君 大藏書記官 菅原 通敬君

司法省民刑局長 河村讓三郎君

相續稅法案

○委員長立川雲平君 昨日ニ引續キマシテ開會ヲシマス、委員ノ諸君カラ修正ヲシテ修正案ガ出來マシタカラ、之ヲ配布シマス

○山口達太郎君 今御配布ニナル四條ヲ御諮リニナル前ニ、一條加ヘタイト思ヒマス、發議シテ差支ゴザイマセヌカ、實ハ第三條ニ加ヘタイト思ヒマス、第二條ハ既ニ議決ニナリマシタカラ、三條ト四條ノ間ニ加ヘタイト思ヒマス

○委員長立川雲平君 ソレデハ委員ノ修正說ノ前ニ出ルコトニナリマス

○山口達太郎君 左様デス、私ハ斯ウ云フ條ヲ加ヘタイト思フノデアリマス、公共團體或ハ慈善事業等ニ寄贈ヲ致シマシタコロノ財産、或ハ遺贈等ノモノニハ課稅ヲ致サヌ、斯ウ云フ意味ノモノニハ課稅ヲ致サヌ、其文ヲ控エテ見マシタガ、斯ウデアリマス、公共團體及慈善事業ニ寄贈セシモノハ相續開始以前一年以内ト雖モ課稅セス 遺贈モ亦同シ「斯ウ云フ箇條ヲ加ヘタイナセ加ヘタルコト云フト、此先キ段々此公共團體ニ寄贈シ、或ハ慈善事業ニ遺贈スルト云フコトハ、國家社會ノためニ、干涉シテモラタイト思フ位デアアル、然ルニ公共團體ニ寄贈、或ハ親類等ニ贈與遺贈シタモノニ、同率ノ稅ヲ課スルハ、甚ダ權衡上宜カラヌコト、思ヒマスカラ、此公共團體並ニ慈善事業ニ寄贈遺贈スルトコロノ財産ハ、課稅價格ニ加ヘナイ精神デアリマス、諸君ニ於テモ御熟考ノ上、御賛成アラムコトヲ望ミマス

○關直彦君 サウ云フコトハ、本案ノ中ニナイノデスナ、元ト豫想シナカッタノデスカ

○政府委員若槻禮次郎君 公共團體慈善事業ノ贈與ト雖モ、一年內ノモノハヤハリ加ヘテ置イテ、サウシテ加除スル、ヤハリ此中ニ這入ッテ居リマス、併シ唯今ノ御述ベノヤウナ意味ニナッテ、議決ニナルコトハ、強イテ不同意ハ申シマセヌカ、今御述ベニナッタルヤウナ文

言ダト、元來ノ法律ノ立法方ト違ッテ居ルヤウニ思ヒマス、此趣意ヲ立テヤウト思ヘバ、文言ヲ今少シ正確ニ願ヒタイ、今二條ヲ御決議ニナリマシタガ、皆サンデ之ヲ御變ヘニナルコトハ出來ハセヌカト思ヒマスシ、或ハ三條ノ後トノ方ヘ這入レバ、ソレデ出來ルカトモ思ヒマスガ

○關直彦君 私モ山口君ノ説ガ、誠ニ穩當ジヤト思ヒマスカラ、私モチヨット文言ノコトニ就イテ、ドウシテ宜イカ、今考ヘガ浮バヌ、是ハ三條ニ入レルト云フコトニシテ、後トデ政府委員ト御相談ノ上デ、文言ヲ定メルコトニシタラ宜カラウト思フ

○山口達太郎君 私モ別ニ一條ヲ設ケルヨリハ、三條ニ修正ヲシタガ宜カラウト思ヒマスガ、既ニ議決ニナッタルノデ控ヘマシタガ、唯今政府委員カラモ、三條ヲ修正シテハ何ウダト云フ御話モアリ、諸君ノ御同意ヲ得テ、趣意サヘ通レバ、何モ差支ナイノデアリマス、然ルニ公共團體若ハ慈善事業ニ對シテ寄贈シタモノヲ除クト云フ意味ガ、少シモナイノデ、ソレ等モ一般相續者ト同様、課稅ニナッテ居リマスカラ……趣意ガ通レバ、ドチラデモ宜シイノデ、此趣意ダケハ通過アラムコトヲ望ミマス

○中村清一郎君 私モ茲ニ一條ヲ加ヘルヨリモ、寧ロ第三條中ノ末項ニ規定シテ置ク方ガ、穩當デアラウト考ヘマス、此委員會ニ於テ同意ヲ得レバ、ソレデ出來得ルコト、信ジマス、故ニ私ハ此第二條中ニ、其修正意見ヲ加ヘテ置キタイト云フ考デアリマス

○木村格之輔君 私モ賛成致シマス

○委員長立川雲平君 サウスルト、公共團體及慈善事業ニ對シテ爲シタル贈與遺贈ニ對シテハ、課稅セヌト云フコトヲ、第三條中ニ規定シテ、サウシテ字句ノコトハ後ニ御相談フスルト云フノデスナ

○山口達太郎君 字句等ハ後トカラ修正ヲ願ヒマシテモ、趣意サヘ通レバソレデ宜シイ

○委員長立川雲平君 山口君ノ唯今ノ御説ニ、御不同意ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○委員長立川雲平君 然ラバサウ云フコトニシテ、字句ハ後トデ御相談フスルトニ致シマス、ソレデハ第四條即チ委員ヨリ出テ居ル修正案ヲ原案トシテ、御相談フスルトニ致シマス

○木村格之輔君 私ハ四條ニ就イテ修正ニ修正ヲ加ヘマス、此事項ノ前項ノ「土地又ハ建物ノ賃貸價格」トアルノヲ「又ハ建物」ノ文字ヲ削リ修正案ヲ提出致シマス

(此時速記ヲ中止ス)

○政府委員若槻禮次郎君 家ノ寶物トシテ保存シテ居ル物ノ中ニハ、其家デハ非常ニ珍重スルケレドモ、他カラ見レバ左程價アル物トハ見ナイ、其家デハ珍重スルケレドモ、其價值デ以テ總テ相續稅ヲ課スルカト云フ、御尋ネノヤウデゴザイマスガ、ソレハ一般ノ認ムルトコロニ依ル、詰リ價アル物ト見テ、相當ニ書キ出セバ、ソレニ依ッテ……

○關直彦君 世間ヘ出シテハ賣ルコトガ出來ナイ、縛リ付ケラレテ一万五千圓ト云フ値打テ數代課セラレテ往クト云フコトハ、非常ニ困難ヲ感ジヤシマセヌカ

○政府委員若槻禮次郎君 賣レナイモノデアリマスレバ、從ツテ誠ニ價值ハ私ハサウ高クナイト思ヒマス、珍重ハスルカモ知リマセヌガ、公益ニ屬スルモノデアレバ、價值ハ出マスケレドモ、賣ルコトノ出來ヌモノデアリマスルコト云フト、物ノ値段ト云フモノハ、大變少カラウト思ヒマス、今ノ什器ニ就イテハ、ドウ云フヤウナ算定ヲシマスルコト云フコトハ、是法律デハ唯其物ノ價格ニ依ルコトニナツテ居リマスカラ、私が種々場合ヲ想像シテ、一々申上ゲマセヌケレドモ、今御話ニナルヤウナ、賣買スルコトノ出來ヌ品物デアッタラバ、恐ラクサウ高ク見積ルコトハ出來マイト思ヒマス

○關直彦君 此第四條ハ修正案ガ議題トナツテ居ルノデアリマスカ

○委員長立川雲平君 左様デゴザイマス、今ノ修正案ノ外ニ、木村君ノハ「又ハ建物」ノ二箇所ヲ除ク

○關直彦君 前ハ修正ニ復シタイ、原案ニ對スル土地ニ付イテハ、賃貸價格ノ十五倍、建物ニ付テハ其ノ八倍ト云フノニ復括致シタイ、其譯ハ殆ドモウ多言ヲ要シマセヌガ、唯今政府委員ガ委員長ニ通告サレルトコロニ依ツテ見マシテモ、此委員會ノ新シイ修正ニハ、同意シテ差支ナイ、此一言デ以テ、殆ド此修正案ト云フモノ、價值ガ定マルト思フ、政府ノ方ニハ誠ニ御都合ガ好イノデス、又人民ノ側トシテ相續稅ヲ取ラレル方ノモノカラ云フト、非常ニ是ハ恐シイコトニナルト思ヒマスノデ、其譯ハ土地ノ賣買價格——土地建物ノ賣買價格、是ハ政府ノ算定ニ依リマスル、賣買價格ハ非常ニ高ク見積ラレル、現ニ東京市ナドニ於キマシテハ、土地ノ賣買スル登記所ニ往キマスル、實際ノ賣買價格ガ、一万圓デアアルモノデゴザイマスルコト云フト、登記役場デハ一萬五千圓ノ價格トシテ、印紙ヲ貼ラナケレバ、ドウシテモ通過ハサセナイ、ソコデ賣ル方ハ金ガ欲シイカラ、仕方ガナイカラ登記稅位ハ我慢シヤウト賣リマスル、是ガ即チ政府ノ見積ルトコロノ、土地ノ賣買價格ト相成ルノデアリマス、實際ニ於テドウカト云ヒマスル、其一万五千圓ノ印紙ヲ貼リマシタ土地ヲ、東京市ノ市區改正ノためニ買上ゲニナリマスレバ、是ガ八千圓ト云フコトノ算定ニナル、八千圓ヨリシカ異レナイ、斯ウ云フヤウナ今日ノ狀況デ、土地ノ賣買價格ト云フモノハ、實ニ實際ノ賣買價格ヲ表シマスルモノデハナイデアリマス、夫カラ又或地方ニ於キマシテハ、登記役場ノ役人ノ寬大ノ場所ニ於キマシテハ、或ハ千圓ノ賣買ノモノヲ八百圓トシテ、之ヲ勘定スルコトモゴザイマス、其場合ニハ詰リ人民ノ方デ嘘ヲ言ッタ嘘ノ賣買價格ガ、賣買價格ノ標準トナジテ往クト云フ譯デアリマスコトナニ至シマシテモ、低イ方ノ嘘ヲ吐イタ、賣買價格トナリマシテモ、標準ガ其正鵠ヲ得ナイノデアリマス、又收稅吏ノ苛酷ノ場合ニ於テ、高イ方ノ賣買價格トセラレマシテモ、其賣買價格ノ標準ト云フモノハ、共ニ正鵠ヲ得ヌノデアリマス、ソコデ眞ノ賣買價格ノ標準ト云フモノヲ、何ニ取ルカト云フト、賃貸價格ニ依ツテ算定スルコト云フコトガ、誠ニ公平ヲ得ル根據デアラウト考ヘマス、ソコデ何レ田畑宅地若ハ市街宅地等ニ就キマシテモ、本年議會ニ於テ、非常ニ議論ガゴザイマシタガ、是ハ到底地價ト云フモノハ、修正セナケレバナラヌト云フコトノ議論ハ、凡ソ諸君ノ輿論ト相成ジテ居ルダラウト考ヘマス、其地價ヲ修正セナケレバナラヌト云フ、其標準ハ何ニ依ルカト云フト、ヤハリ賃貸價格ノ實際ノ收入ニ依ツテ算定シテ往クト云フコトガ、根據トナラナケレバ、即チ地價ノ公平ナル標準ヲ得ルト云フコトハ、出來ナイノデアリマスカラシテ、新ナル地價ノ算定法ニ依リマスレバ、

ドウシテモ此賃貸價格ト云フモノヲ、標準ニスルヨリ仕方ガナイ、將來ニ行フトコロノ地價修正ニ於テモ、賃貸價格ヲ標準ニスルヨリ仕方ガナイ、幸ニ相續法ノ條文ノ原案ニ依リマスルコト云フト、其主義ガ採用サレテ、公平ナル地價ノ盛リ方ガ出來ヤウト存ジマスル場合ニ於テ、之ヲ以テ又元トノ賣買價格ヲ標準トスル、即チ正鵠ヲ得ナイ、賣買價格ヲ標準トスルコトニナリマスル、立法ノ新智識ガ後ト戻リマスルコト云フコトニナリハシナイカ、ソレデ例ヘバ此賃貸價格ノ十五倍ト云フノハ、高イト云フコトデゴザイマスレバ、ソレガ修正ニナツテモ、私ハ異論ハナイ、是ハ十五倍ト云フノハ、十倍トスルト云フコトデゴザイマスレバ、少シモ異論ハナイノデアリマスガ、賃貸價格ヲ標準ニシナイデ、正鵠ヲ得ナイ賣買價格ヲ標準ニスルコト云フコトニ就キマシテハ、徹頭徹尾私ハ贊成ヲ表スルコトガ出來マセヌ、故ニ是ハ原案ノ方ニ復シマシテ、賃貸價格ノ十五倍及八倍ト云フコトニ致シタイト考ヘマス

○木村格之輔君 前ノ關君ノ前ノ修正案ニ復括ト云フ說ニハ、反對デ、關君ガ賃貸價格ガ其公平ヲ得ラレルコト云フ例トシテ、東京市中ニ於テハ一萬圓ニ賣買ニナツタモノガ、登記官吏ガ一萬五千圓デナケレバ、登記シナイト云フ、私ハサウ云フ官吏ハナカラウト思フ、若シ斯ノ如キ收斂ナル官吏ガアルナラバ、宜シクソレハ官吏ヲ改メルガ宜イ、却ツテ私ナドノ見ルトコロニ依リマスル、實際ノ賣買ハ一萬五千圓ニ賣買ヲ致シマシテモ、一萬圓ノ證書ニシテ登記ヲ受ケルト云フコトガ、事實ハ多イノデアラウト思フデ居ル、是モ良クナイコトデアリマスガ、要スルニ登記ヲ受ケルニ就イテ、地所賣買ノ登記ヲ受ケナケレバナラヌノデアルカラ、賣買ノ相場ヲ算定スルコトハ、誠ニ仕易イノデアリマスカラ、賃貸價格ヨリハ却ツテ水村塞村ナド、云フモノヲ豫想致シマスル、賣買價格ガ相當デアラウト思フ、且東京市中ニハサウ云フ弊ガアルト致シマシテモ、日本國ヨリ見マシタラバ、東京市中ハ誠ニ小ッポコサイ、ソシナ小サイコロノ、少數ナモノヲ保護スルためニ、全國ノ多數ノ人ニ難澁ヲ掛ケルト云フコトハ、法律ヲ制定スル上ニ於テ、餘程慮ラナケレバナラヌトスレバ、僅カ東京市ノ小サイコロノ標準ヲ以テ、遍ク日本國民ヲ害スト云フヤウナ、法律ヲ作ルノハ、私ハ關君ノ意見トシテ贊成スルコトハ出來ナイノデアル、故ニ此賣買價格ハ相當デアラウト思フ

○關直彦君 唯今ノ木村君ノ議論中ニハ、私が聞キ捨テニナラス、木村君ニ似合ハヌ言ヲ吐カレマシタコトガアリマス、東京市ガ全國中ニハ小ッポコナ所デアルカラ、東京市ノ例ヲ以テ推スコトハ出來ヌト云ハレマシタガ、木村君ノ標準トサレルトコロハ、何處ヲ標準トサレタノデアラウカ、茨城縣ノ某郡ノ某村ノ僅カナル小サイコロノ標準トシテ、御立論ニナツテ居ラウト思フ、全國ニ涉リマスル、或ハ實際ノ賣買價格ヨリモ、抵ク登記シタトコロガアル、是ハ惡イノデアル、是ハ全軀最モ良クナイコトデアル、即チ收稅吏ノ欺ク、社會ヲ欺クト云フノデアリマスカラ、斯ウ云フモノニ對シテハ、少シモ假借スルコトガナク、賃貸價格ニ依ツテ、公平ナル相場ヲ算定スルガ宜シイ、今全國ヲ見渡シマスル、強ヒテ木村君ガ仰シヤルナニガシ村ノ例バカリデハナイ、澤山實際價格ヨリモ多キ登記印紙ヲ貼ラセルトコロガアル、私ハ一例ヲ全國中ニテ東京ニ取リマシタガ、全國中ニハ澤山ニアリマス、木村君ノナニガシ村ノ小サイコロノ大キイト思ヒマス

○北村左吉君 此修正ヲ致シマシタ趣意ニ就イテ、聊カ辯ジテ、關君ノ再考ヲ得タ

イト思フデ、茲ニ再修正委員ヲ設ケマシタ次第、昨日御出席ニナツテ居ラス諸君ノタ
メニ、第一ニ繰返ス必要ヲ認メマス、此十五倍ト云フコトヲ——二十倍ヲ減シテ十五倍
ト云フコトニ致シタデアリマスガ、ソレハ尙實際上不穩當ト認メタデアアル、何故カト申
シマスルニ、十五倍ト致シマスト一例ヲ引イテ申シマスレバ、一段ニ付二石ノ小作宛米
ノ地所ガアル、ソレヲ十二圓五十錢ト致シマス、二十五圓、之ヲ十合セテ二百五十
圓、サウシテ五箇年分ノ二百二十五圓、之ヲ併セテ二百五十圓トニナリマス、コトガ、實
際ニ於テ斯ル地所ガ二百五十圓ニナリマスカラト云フニ、決シテ三百五十圓ハ致シマセ
ヌ、少ナクモ五割多ク、實際ヨリ見積價格ガ高クナル、此法律ノ結果、價ノナキモノニ
向ッテ、之ニ稅ヲ掛ケルコトニナツテ、頗ル不穩當、頗ル不法デ、左ナキニ此稅ト云フモ
ノハ、輕カラヌニ、搗テ、加ヘテ斯ル不當ノ稅ヲ掛ケ、價ノナイモノニ稅ヲ課スルコト云フ
ハ、實ニ堪ラヌ斯ウ云フコトカラ、再此修正スルコト云フ必要ガ生ジタデアリマス、
此事ニ至ッテハ最早誰シモ反對ノナリ議論デアリマス、不穩當ノ點ニ向ッテハ、茲ニ於
テ之ヲ十倍ヲ十五倍ノモノヲ、ソレ以內ニ致セバ勿論宜シイノデ、此第四條ノ規定ト
云フモノハ、他日ノ紛議ヲ防クデアルカラ、宜シイ方法デアル、其點ニ向ッテハ、私一
個人トシテハ關君ニ御同感デアリマスガ、茲ニ於テ此十倍ニ減ズルコト云フコトニ就イデ
ハ、政府ガ同意ヲセナイ、政府ノ同意ヲ得ルコトガ出來ヌト云フコトカラシテ、此委員會
ノ中デモ、時價ニ依ルト云フコトニ就イデ、反對ノ者モアリマシタケレドモ、遺憾ナガ
ラ此時價ニ依ルト云フコトニナツタ、其時價ニ依ルト云フコトニ就キマシテハ、ヤハリ實際ニ
於テハ賣買ヨリ高イ——登記ヲスルトキニ高クスルコトハ、何レノ地方ニモ實際アルコトデ
アルガ、多クノ中ニハ偽リテ登記ヲ受ケヤウト云フモノモアル、其邊カラシテ登記官吏ハ、
悉ク色目鏡ヲ掛ケテ、總テノモノヲ高ク見積ルト云フコトガアルト云フコトハ、免レヌコトデ
アルト云フコトモ、私一己トシテハ認メマスケレドモ、其高ク見積ルコト、サウシテ此十五倍
ト云フコトニスルコトヲ、比較ヲ致シマスレバ、寧ろ高ク見積ルヨリハ、十五倍ニスル方ガ、
實際上餘程宜イコト云フコトヲ認メテ、此修正ニナツタ次第ノデアリマス

○關直彦君 チョット一言附加ヘテ置キマス、十倍ニシテハ政府ガ同意ヲシナイコト云フ
コトデアルガ、是ハ敢テ交渉ノ條件デハナカラウト思フカラ、本案ハ特別委員ハ正當ト認
メルトコロニ於テ、政府ガ同意スルモセナイモノナカラウト思フ、是ガ若シ十五倍デハ高イ
云フ御心配ガアルナレバ、十二倍トシテモ、十倍トシテモ、勝手ノ宜イ方ニシテ宜イコト思ヒ
マスカラ、北村君ニモウ一考ヲ煩ハシテ、若シ十五倍デハ高イコト云フナラバ、十二倍ノ說ヲ
出シタラ同意ヲシマスガ、私ハ改メテ十一倍トシテ此說ヲ出シマスカラ、御賛成ヲ願ヒマ
ス、政府ハ十倍デハ同意セヌ、賣買價格ナラバ固ヨリ宜イコト云フノハ、私ハ危險ヲ感ジ
マス、政府ガ手心デ收稅官吏ニ命令ヲ下シマス、全國ノ登記役場デハ必ズ賣買ノ時
ニ印紙ヲ、五割モ六割モ餘計貼ラセルニ極マデ仕舞ヒマス、ソレヲ私ハ非常ニ恐レルノ
デアリマス

○委員長立川雲平君 關君ノ第四條ノ土地賃賃價格ノ修正說、十五倍トアルノヲ
十二倍トスル、建物ハ八倍ヲ以テ其價格トスルコト云フ說ニ、賛成ノ方ハ起立

起立者 少數

○阿部德三郎君 木村サンノ「又ハ建物」ト云フ文字ヲ削除スル說ハ、至極相當ト思

ヒマスカラ、賛成致シマス

○委員長立川雲平君 昨日選ビマシタ七名ノ委員カラ出マシタ修正說ニ對シ、別ニ
反對ノ意見ハ無イヤウデスガ、念ノタメ修正說ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○委員長立川雲平君 多數デゴザイマス——之ガ既ニ決シマスルト、木村君カラ提出
ニナツタ「又ハ建物」ノ文字ヲ一箇所削ルト云フ意見ニ、異議ゴザイマセヌカ
（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○委員長立川雲平君 御異議ガゴザイマセヌカラ、其通り決シマス、是ハ第四條ハ確
定致シマシテ、第五條ニ移リマス

○關直彦君 私ハ第二項ヲ全部削除シタイコト云フ意見デゴザイマス、ソレハ第十三條
ニ於テ、價格ハ政府ノ決定ト云フコトガアルカラ、之ヲ置ク必要ハアルマイ、尙昨日委
員ヨリ報告ニナツタ十六條ノ趣意ヲ貫徹スルニハ、此二項ガアルト非常ニ困難デアラウト
思フコト云フノハ、政府ガ認定ノ權ヲ有デ居ルコトスル、行政裁判所ガ認定權ニ立入ッ
テ調ベルコトハ、出來ナイデアラウト思フ、且十一條ニ於テ居ラスルコトニナツテ居デ其屆
ニ不正ノコトガアレバ、二十三條ノ制裁ガアルカラ、殊更ニ之ヲ掲ゲル必要ハアルマイ、依
テ二項ハ全部削除シタイ

○委員長立川雲平君 第五條二項ノ全部削除說ニ賛成ハゴザリマセヌカ
○漆昌巖君 政府ガ確實ト認メタカラトテ、行政裁判所ガ出來ナイコト云フコトハアルマイ、
サウデナレバ裁判所ハ要ラナクナル、又裁判所ハソノ不確實ナモノデアアルマイ、政府ガ
認メタ所ガツレガ惡クテ不服デアッタナラバ、裁判ハ出來ルニ依ッテアッテモ差支ナイ
○北村左吉君 第五條ノ本文ニ、訴訟中ノ件ニ就イデハ政府ノ認ムル所ニ依テ其價
格ヲ評定スルコト云フコトガアリマスガ、之ヲモウ一項加ヘルカ、或ハ但書ニスルカ、何方ニセ
ヨ、政府ハ保證ヲ徵シ、又ハ之ヲ徵セズシテ、此稅ヲ徵收スルコトヲ猶豫スルコトガ出來ル
斯ウ云フ箇條ヲ加ヘタイト思フデス、其次第ハ此訴訟中ノモノニ向ッテ、稅ヲ取ルト云フ
コトニナルト、其結果ハドウナルカ知レナイデアアル、其結果ノ豫知シ得ベカラザルモノニ向ッ
テ、税金ヲ取ルト云フコトハ、甚ダ酷ナコト、思フ、畢竟之ヲ取ルノハ、早ク此徵稅ノコト
ヲ結了セシメテシマウト云フ趣意カラ、出ルデアルケレドモ、他ノ箇條ニ於テモ猶豫スル
場合ガ、既ニ設ケテアル、又ツレガ良シヤ無イトシマシタコトガ、實際上ニ於テ其一部分
ヲ不定ノ内ニ於テ、決シテ差支ヘナイコトカラデアアル、又已ムヲ得ヌ事柄デアアル、サウシテ政
府ニ此權能ヲ持テ居ル以上ハ、政府ニ於テ明確ナ場合ハ決定シテモ宜シイガ、不明確
ナ場合ニ於テハ、政府ノ權力ニ於テ之ヲ猶豫スル、又危險ナド、思ヘバ、保證物デモ政
府ガ取ルコトガ出來ルト云フコトニサシタナラバ、實際上ニ於テ不都合ノコトハ毫モアルマ
イト思ハレマス、故ニ斯ノ通り本條ニ修正ヲ加ヘタイト思フ

○阿部德三郎君 チョット政府委員ニ確メテ置キマスガ、第五條ノ二項ニ就イデハ、既
ニ委員會ニ於テモ——修正委員會ニ於テモ意見ガアリマシタ、箇條デアリシテ、此債務
ノ認定ニ對シテモ、無論訴願——訴訟ガ出來ルト云フコトノ、政府委員ノ答辯デアッ
タデアリマスガ、併シ其時ニハ別ニ速記ニモ止メテナイデアリマスカラ、今日改メテ果シテ
其事ハ此債務ノ決定ニ對シテモ、訴願若クハ行政訴訟ヲナスコトデ出來得ルト云フコト

ニナリマス、責任アル答辯ヲ聽キタイノデアリマス

○政府委員菅原通敬君 是ハ解釋ノアル問題アルト思ヒマスガ、私カラ責任ヲ以テ御答ヘスルコトハ、少シ困難デアラウト思ヒマス、併ナガラ既ニ課稅價格ノ決定ニ對シテ、訴願ヲナスコトヲ得ルトアリマス以上ハ、其各課稅價格ノ項目ノ評定ニ就イテノ訴訟訴願ハ、出來ヤウト思ヒマス

○阿部徳三郎君 唯今政府委員ノ御答辯デハ、結局要領ヲ得マセヌノ譯デアリマスガ、左リナガラ若シ其點ニ就イテ心配ガアリマスナレバ、此第十六條ノ方ヲ議スルニ當ツテ、修正ヲ加ヘルコトガ出來ヤウト思ヒマスガ、又私ハ此箇條ニ就イテハ、修正委員ノ通、決定致スコトヲ希望致シマス

○委員長立川雲平君 第五條ニ付イテ北村君ノ修正說ノ如ク、改正スルト云フコトニハ、御同意ガナイヤウデアリマス

○漆昌巖君 私ハ贊成シマス

○委員長立川雲平君 北村君ノ修正スルト云フノハ、成文ハナイノデアリマス

○北村左吉君 成文ハアトカラユヅリ……

○委員長立川雲平君 北村君ノ訴訟中ノ權利ニ就イテハ、政府ガ保證ヲ立デルコトヲ取ラズシテ、延期スルト云フコトヲ得ト云フ趣旨ニ、修正スルト云フコトニ贊成ノ御方ハ、起立ヲ請ヒマス——小數デアリマス、ソレカラ關春茂ノ第二項全部削除ト云フコトニハ、贊成ガナイヤウデアリマスガ、委員ノ修正說ノ通、「公正證書ヲ以テ證明スルモノ、外」ト云フ數文字ヲ削ルト云フコトニ贊成ノ諸君ハ、起立ヲ請ヒマス——多數デゴザイマス、修正說ニ極リマシタ、第六條ニ移リマス

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○委員長立川雲平君 ソレデハ原案ニ決シマス、第七條

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○委員長立川雲平君 是モ異議ガナイ様デアリマスカラ、原案ニ決シマス、第八條ニ移リマス

○阿部徳三郎君 本案ニ就イテハ修正意見ガアリマス、ソレハ此家督相續、遺產相續ト云フ稅率ノ差等ヲ付ケマシタ欄内中、何レモ此第二ノ欄ヲ全部削除ヲ致シマス、サウシテ家督相續ノ方ハ、單ニ相續人ガ、被相續人ノ家族タル直系卑屬ナル時ニ止メテ、嫡出子ナルトキ庶子又ハ私生子ナルトキ「ト云フ文字ヲ削リタイト思ヒマス、ソレカラ遺產相續ノ場合ニ於テハ、第一ノ欄ヲ相續人ガ直系卑屬ナルトキト致シテ、「嫡出子ナルトキ庶子又ハ私生子ナルトキ」ト云フ文字ヲ削除致シタイト思ヒマス

○委員長立川雲平君 第二ノ欄ヲ全部削除ト云フデアリマス

○阿部徳三郎君 ソレニ就イテ少ク簡單ニ其理由ヲ述ベテ置キマスガ、政府委員ノ說明スル所ニ依ルト、此稅率ニ差等ヲ設ケタ所以ハ、被相續人ト相續人トノ親屬關係ノ親疎ニ依ツテ、斯様定メタモノデアルト云フ事デアリマスガ、然ルニ若シ此親疎ト云フコトヲ申シマスナラバ、民法ノ規定ニ於テハ庶子又ハ私生子ハ、ヤハリ法定ノ正當家督相續人トナツテ居リマスノデ、第二番ノ相續人ヨリハ、尙ホ優先ノ順位ヲ占メテ居ルモノデア、然ルニ本法ニ於テハ、第二番ノ相續人ヨリモ、尙ホ過重ノ稅ヲ課スルト云フコトハ、

甚ダ親疎ノ區別ニ就イテ、差等ヲ設ケルト云フトコロノ趣旨ニ反リマス、又或ハ是ハ風俗矯正ヲ意味スルモノデアルト云フ議論モアリマスケレドモ、既ニ本法タルトコロノ民法ニ於テ、法定ノ家督相續人ト認メラレテ居リマス以上ハ、民法ヲ改正シタ曉ハ免モ角、民法ノ現在ノ規定ニ於テハ、左様ナ庶子又ハ私生子デアリマシテモ、酷ノ稅ヲ課スルコトハ、甚ダ隱當デナイト考ヘルノデアリマス、故ニ私ハ結局修正意見ニ決定シタイト思ヒマス

○磯部四郎君 私モ阿部君ノ修正ニ大體贊成デアリマスガ、少シ其理由ヲ話シテ置キタイト考ヘマス、其次第柄ハ元來此二ノ理由ニ依リマス此民法上ノ庶子又ハ私生子ト云フモノハ、遺產相續ニ於キマス、普通ノ嫡出子ヨリ半分シカ受ケナイ、ソレカラ又家督相續ニ於キマス、庶子又ハ私生子ノ相續スル場合ハ、他ニ嫡出子モ何ニモナクテ、全ク庶子私生子ガ相續スル場合ナケレバ、家督相續ハ庶子又ハ私生子ハナラヌノデアリマス、ソコデ庶子ト云フモノハ、相續シナイ時分ダケ相續ニナル場合ニ於テ、偶々遺產相續ニ就イテ受ケル時ニハ、受ケルモノハ少ク受ケテ、出ス時ハ多ク出サナケレバナラヌト云フ理由ハ、ソレカラ今一ノ理由ハ、庶子又ハ私生子ト云フ事柄ハ、相續ノ關係ニ於テ親子ノ間ニノミ限ラレテ居リマス、第三段ハ選定相續若クハ其他傍系親ニ當ツタリ、或ハ尊屬親ノ相續ニ依ル場合ニ、私生子庶子ニ何等ノ關係ヲ有タヌ、サウ致シマス、ドウ云フ結果ヲ生ズルカト云フト、只親子間ノ直系ナルガタメニ相續スル場合ハ、稅ヲ餘計取ラレ、傍系親若クハ尊屬親ニ關係スル場合ニ、第三段ヲ拂フ所ノモノハ、少クナル、ドウシテモ事理ガ貫徹シナイ結果ヲ來シマス、又私生子ヲ罰スルトカ、庶子ヲ罰スル風俗論カラ見マス、申スマデモナク既ニ民法上ノ相續ニ於テ罰セラル、且ツ罰セラル、ノハ卑屬稅デア、何ニモ承諾モナク小供ニ責任ヲ及ボスト云フコトハ、至當デナイカラ、全然削除說ニ贊成デアリマス

○木村格之輔君 私モ今ノ修正說ニ贊成デアリマスガ、之ヲ贊成スルト同時ニ、此稅率ハ登記法ト調和シナイデハナラヌト云フ、必要ヲ感ジマスカラ、時間ノ取レルデモアリマセヌカラ、此修正ヲ貫徹スルガタメニ、十分間バカリデ出來ヤウト思ヒマスカラ、委員五名ヲ選ンデ、此修正ヲ貫ヒタイト云フ案ヲ提出シマス

○山口達太郎君 私ハ唯今ノ木村君ノ動議ニ贊成シマス、私ハ今一ツ動議ヲ起シタイト思フノハ、本條ニ但書ヲ加ヘタイ、其文言ハ「但平和克復ノ翌年ヨリ本稅率ノ半額トス」斯ウ云フモノヲ加ヘタイ、是ハナセ加ヘルカト云フト、此相續稅法案ハ、今日ノ場合ニ於キマシテ、是ダケノ稅率ヲ課セラル、ハ、已ムヲ得ヌコトデアリマスケレドモ、此通リ平時ニ課ケマスノハ、大變弊ガ大カラウト思ヒマス、他ノ例デアリマスガ、英國アタリデハ、戰時百分ノ六位ヲ徵收シタコトガアリマスケレドモ、其戰爭ガ終局シテカラ減ジテ、百分ノ四カ二位ニナツテ居リマス、デアリマスカラ、本案ハ平時ノ際ニモ是ダケノ稅ハ課シタクナイケレドモ、今日時局ノタメ、他ノ諸稅ニ非常特別稅ヲ課スル場合デアリマスカラ、今日ハ宜シイトシマシテ、平和ガ克復シマスレバ、此稅率ハ全體ニ半額ニ致シタイト云フノデアリマス、故ニ「但平和克復ノ翌年ヨリ本稅率ノ半額トス」ト加ヘタイ

○委員長立川雲平君 チョット御注意致シマスガ、他ニ委員會ガ支ヘテ居リマシテ、速記ナドモ出來ナイト云フコトデアリマスカラ、ドウカ此委員會ダケハ經過シタイト思ヒマス

が、ソレデモ御議論が盡キタヤデアリマスカラ、木村君ノ説カラ採決シマス、此委員五
名ヲ選ンデ、率ノ修正ヲ依テスルト云フ説ニ賛成ノ方ハ起立ヲ願ヒタイ

起立者 少數

○委員長立川雲平君 少數デアリマス、夫カラ阿部君ノ此家督相續ト云フ方デ、嫡
出子ナルトキハ庶子又私生子ナルトキハ、サウシテ第二段ノ率ヲ皆消シテ、夫カラ遺產相
續ノ方デモ、同様ノ部分ヲ消スコトニナル、此阿部君ノ説ニ御同意ノ方ハ起立ヲ願ヒ
マス

起立者 多數

○委員長立川雲平君 阿部君ノ説多數デアリマスカラ、削除スルトニ決シマシタ

○木村格之輔君 私ハ尙ホ修正ヲ提出致シマス、此課税額欄ノ内ノ相續稅ヲ千分ノ
十二ヲ十トシ、順次此割合ヲ以テ繰下ケルコト、夫カラ第二番ノ十五トアルノ十二ト
シ、是モ順次繰下ケル、夫カラ末段ノ千分ノ二十ヲ十五トシテ、是モ順次繰下ケルコト、
ソレカラ遺產相續モ、其割合ニ依ッテ此稅率ヲ繰下ケルコト、此案ヲ提出シマス

○關直彦君 ソレハ私モ賛成シヤウト思ヒマス、既ニ山口君カラ提出サレタノハ、ソレデ
アルガ、此但書ヲ加ヘタイト云フコトハ、此法律ニ對シテ穩當デナカラウト思ヒマス、詰リ
率ガ餘リ高過ギルカラ、先ヅ率ハ千分ノ十位ガ至當デナカラウト思ヒマス、贊成致シマス

○政府委員菅原通敬君 唯今モ稅率ヲ低クメルト云フ動議が出テ、居ラレノデアリ
マスガ、此直系卑屬ノ内ニ區別ヲ廢シ、嫡出子ト庶子又私生子ト區別ガナクナッタ、サウ
致シマスト是ダケノ豫定ノ收入ノ上ニ影響ヲ有ツニ至ルダラウト思ヒマス、是ガ全體ニ於
テ率ヲ下ケル場合ニ立到リマス、豫定ノ收入ニ大ナル減額ヲ見ルノデアリマス、是ハ政
府ハドコ迄モ維持シタイ積リデアリマス、新稅ノコトデアリマスカラ、成ベク率ヲ低クメテ置
イタラ宜カラウト云フコトハ、同感デアリマスガ、此千分ノ十二、十五ト云フコトハ、相續
稅トシテ決シテ高イ稅デナカラウト思ヒマス、外國ノ例等ヲ援用シテモ決シテ過當ノ率デ
ナカラウト思ヒマス、政府委員ノ意志ダケヲ……

○磯部四郎君 私ハ率ヲ下ケルニ反對デアリマス、其次第柄ハ、先程既ニドナカノ御
論が出マシタガ、英國ハ百分ノ四、佛國ハ百分ノ十五、尤モ直系親ニ近イモノハ百分ノ
一、五トナル、サウスルト千分ノ十五ニナル、英國ハ百分ノ四トナリマス、千分ノ四十ニ
ナル譯デアル、ソレデ此稅ニ至リマス云フト、是ハ一生ニタツタ一度シカ拂ハヌノデアリマ
スカラ、是等ハ新稅デアリマスカラ、分ラヌケレドモ、サウ下ケルト云フト、手數ガ多クナッ
テ、收入ハ極ク少ナクナルト考ヘマスカラ、外國ノ比較ニ於テ、是ヨリ下ガッテ居ルトコロハアル
マイト思ヒマス、デアリマスカラ、是ハドウカ原案ノ儘差置カレンコトヲ望ミマス

○山口達太郎君 私ハ先刻但書ヲ提出致シマシタケレドモ、不幸ニシテ贊成ガアリマセ
ヌカラ、一步ヲ譲リマシテ、千分ノ十ト云フ説ニ贊成ヲ致シテ置キマス、今磯部君カラ是
程廉イノハナイト云フ御説デ、成程百分ノ六ト云ヒマス、千分ノ六十ニナリマス、ソレハ
一番初段カラ御覽ニナレバ高イケレドモ、是ハ累進率ニナッテ居ルカラ、仕舞ヒノ百萬圓
デハ千分ノ百三十二ニナル、最近ノ家督相續ヲシタトキニ至ッテモ、百萬圓以上ハ千分ノ
百三十八ニナル、即チ百分ノ十三ニナル、サウシテ見マスト高イ、斯ウ云フコトヲ申シタノ
デ、一番下額ノモノヲ指シタノデアリマセヌ

○木村格之輔君 此遺產相續ニハ稅率ヲ準用ストゴザリマスガ、ヤハリ千分ノ十五ト
第一段ニアルノヲ、千分ノ十二トシ、ソレカラ第三段ニ千分ノ十七トアルノヲ千分ノ十
トシ末段ノ千分ノ二十五トアルノヲ千分ノ二十トシテ、順次此割合ニ依ッテ繰下ケル
云フ修正ヲ提出シマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○關直彦君 政府委員カラ收入ニ相違ガアルト云フコトデ、成程多少アルカ知リマセ
ヌケレドモ、先刻ノ四條ガ賣買價格ニナリマシタ以上ハ、餘程殖ヘマス、實際ニ於テサウ
思フ、デカラ少シモ政府委員ノ御心配ハ、ナイト思ヒマス

○北村左吉君 アチラコチラデ、餘程減ジマシタカラ、此處ハ減ジタイデアリマスケレドモ
大舛ニ餘程影響ヲ及ボスダラウト思ヒマスカラ、辛棒シテ原案ニ贊成シマス

○委員長立川雲平君 木村君ノ此率ヲ下ケルト云フ説ニ御同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○委員長立川雲平君 多數デアリマス、第八條ハソレデハ其率ハ後トデ、計算ヲ改メ
ルトニ致シマス、其他ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長立川雲平君 ソレデハ其他ハ原案ノ通り決シマス、第九條ニ移リマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長立川雲平君 第九條御異議ガナケレバ原案ニ決シマス、第十條ニ移リマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長立川雲平君 第十條ハ原案ノ通り決シマス、第十一條ニ移リマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長立川雲平君 十一條ハ原案ニ決シマス、第十二條ニ移リマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長立川雲平君 十二條ハ原案ニ決シマス、第十三條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長立川雲平君 十三條ハ原案ニ決シマス、第十四條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長立川雲平君 十四條ハ原案ニ決シマス、第十五條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長立川雲平君 十五條ハ原案ニ決シマス、此所ニ修正委員ノ修正ノ十六條
ガ這入リマスカラ、是ヲ議題ト致シマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○委員長立川雲平君 十六條「課稅價格ノ決定ニ對シ不服アルモノハ訴願又ハ行
政訴訟ヲ爲スコトヲ得」

(「修正ニ贊成」ト呼フ者アリ)

○委員長立川雲平君 御意見ガナケレバ修正ニ決シマス、次ハ原案ノ十六條、修正ノ
第十七條ニ移リマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長立川雲平君 ソレデハ原案ノ十七條、修正ノ十八條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長立川雲平君 ソレデハ修正ノ第十九條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長立川雲平君 次ハ修正ノ第二十條、即チ原案ノ十九條デス

○阿部徳三郎君 此條ニ對シテハ、左ノ修正意見ヲ提出致シマス、第二十條「相續開始前一年內ニ被相續人ヨリ本法施行地ニ在ル財産ノ贈與ヲ受ケタル者ハ其價格ニ應ジ相續稅ヲ納付スヘシ、前項ノ場合ニ於テ相續稅ヲ完納スルコト能ハサルトキハ相續人ニ於テ不足額ヲ納付スヘシ」其理由ヲ簡單ニ申シマス、第三條ノ規定ニ依リマス、相續開始前一年內ニ贈與ヲ受ケタルモノハ、其贈與ノ財産が相續財産ニ加算セラル、コトニ相成テ居ルノデアル、而シテ納稅ノ義務ハ何人ガ負擔スルカト申シマス、相續人ガ負擔スルコト云フコトニナラデ居ル、元來本法ノ精神ハ、相續財産ニ稅ヲ課スルコト云フガ、此骨子デアル、然ルニ此贈與ヲ受ケタルモノガ、此明文ヲ揭ゲテ置キマセヌト、相續人ノ財産ヲ以テ相續稅ヲ納ムルコトガ出來ナイ、詰リ不足額ヲ生ジタル場合ニ於テ、始メテ納稅ノ義務ヲ負擔スルノデアリマシテ、若シ相續人ガ納稅ノ義務ヲ盡スコトガ出來ナイ場合ニ於テ、手ヲ汚サズニ贈與ノ財産ノ全部ヲ取得スルコトニナリマス、甚ダ之ハ不公平デアデ、本法ノ精神ニモ悖ルト云フ考デアルノデアリマス、此事ニ就イテハ修正委員會ニ於テモ、磯部君ヨリ御意見ガアリマシタガ、其當時ハ修正ヲ加ヘテ置キマセヌデモ、民法ノ規定ニ依レバ、其遺留分ヲ規定シテ條ノ下ニ、債務ヲ控除スルコトノ規定ガアルカラ、當然債務ノ中ニハ公課ト云フコトヲ包含シテ居ル、故ニ本法ニ之ヲ規定スルノ必要ガナイト云フヤウナトコロカラ致シテ、修正ヲ加ヘルト云フコトニナラデアリマシタケレドモ、段々本法ヲ調ベテ見マス、第三條ニハ公課ト云フモノト債務ト云フモノヲ、全ク別ノモノトシテ規定シテアルノデアル、故ニ明文ヲ以テ之ヲ定メテ置キマセヌト、單ニ民法ノ規定ニノミ誤ツト云フコトニナリマス、將來疑ヒヲ惹起ス爭ヒノ基トナルト云フコトニナル恐レガアリマスカラ、私ハ茲ニ明カニ明文ヲ以テ議與ヲ受ケタルモノハ、ヤハリ納稅ノ義務ヲ負ハナケレバナラヌト云フコトニシテ置キタイト思ヒマス

○磯部四郎君 唯今ノ修正說ニ於テハ、精神ニ於テハ贊成致シタウゴザイマスガ、法律ノ上ニ於テ餘程困難ニナルト思ヒマス申スハ、此案ハ相續財産カラ取ルト云フ趣意ガ一定シテアリマス、右ノ趣意ガ樂ニナリマスガ、本案ヲ見ルト、政府委員カラモ御説明通り、一方ニハ相續財産ヨリ稅ヲ取ル傍ラ、相續人ノ資格ニ依テ稅ヲ取ルト云フハ、第八條ニ於テ知ラル、サウスルト讓與ヲ受ケタル者、遺贈ヲ受ケタルモノト云フコトガ、如何ナル親等ノ人カ分ラナクナラシマウ、若シ直系卑屬ノ相續スル場合ニ、受贈者ハ直系卑屬ト同様ノ理窟ヲ以テ受ケルコトニナルガ、相續人ガ直系卑屬デナイ時ハ、額が高クナルカラ、受贈者ハソレト平均シテ割合デ、受ケルコトニナルカト云フ、算出上ガ困難ニテ、受贈者若クハ遺贈ヲ受ケル者ニ就イテ、直接稅ヲ課スルハ、本法ノ表デハ困難ヲ感ズル、是ハ政府委員ノ説明ヲ聞イテ、遺留分ガアルカラ宜カラウト云フコトカラ、十九條ニ修正ガ設ケズニアツタ次第デアリマス、唯今ノ御趣意ニハ贊成シタウゴザイマスガ、冒イ文章ヲ見出セヌカラ、斷念シタノデアリマスカラ、已ムヲ得ズ原案ニ贊成致シマス、尙十七條ハ

簡單ニ行キマシタガ、十六條ガ新規ニ入ッタ以上ハ、敢テ困難ハ出マスマイケレドモ、ヤハリ「審査ヲ求メタル場合ト雖モ」トコロヘ「審査訴願若クハ行政訴訟ヲ爲シタル場合ト雖モ」ト云フコトガ、必要デアラウト考ヘマス

○委員長立川雲平君 安部君ノ說ニ贊成ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○委員長立川雲平君 原案ノ十九條、修正ノ二十條ハ原案ノ通りニ決シマス、磯部君ノ十七條ノ「審査訴願若クハ行政訴訟ヲ爲シタル場合ト雖モ」トスルコトニ御異議アリマスマイカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長立川雲平君 ソレデハ原案ノ二十條、修正ノ二十一條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長立川雲平君 原案ノ二十一條、修正ノ二十二條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長立川雲平君 原案ノ二十二條、修正ノ二十三條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長立川雲平君 原案ノ二十三條、修正ノ二十四條、是ハ委員ノ修正說ガアリマス、委員ノ修正說ハ御異議アリマスマイカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長立川雲平君 原案ノ二十四條、修正ノ二十五條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○湯山壽介君 此條ニ於テハ「第二十二條ニ違反シタル者ハ」トアルハ「第二十一條ニ違反シタル者ハ」トナリマスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長立川雲平君 サウデゴザイマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○阿部徳三郎君 參圓以上ト云フ四字ヲ削ッテ置キタイ、所得稅法デモサウナラ居ル、其鈎合ヒモアリマスカラ、此四字ヲ削ッテ置キタイ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長立川雲平君 阿部君ノ「參圓以上」ノ四字ヲ削ルニ贊成ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○委員長立川雲平君 少數デアリマスカラ修正說ニ決シマス、原案ノ二十五條、修正ノ二十六條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○木村格之輔君 附則ハ要リマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長立川雲平君 附則ニ就イテハ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長立川雲平君 御異議ガナケレバ其通り決シマス、先刻山口君ノ御說デ、委員會ガ入レテ居ル說ガアリマス、即チ第三條ノ末項ニ付イテチヨット御相談致シマスカラ、速記ハ中止致シマス

(此間速記ヲ中止ス)

○委員長立川雲平君 ソレデハ委員會ヲ開キマス、先刻山口君ノ第三條ニ加ヘルト云フコトハ……

○磯部四郎君 第三條ニ付イテチヨット……此終リノ「永代借地權ハ相續税ノ課税價格ニ算入セス」ト云フ次第柄ハ、政府委員ノ御答ニナッタクコロニ依リマスルト、是ハ外交上ノ方デ條約ヲ以テ殆ド取レズニ居ルコトデゴザイマスガ、條約ハ自ラ期限ノアルモノデアリマシテ、將來ニ若シ條約ガ改マルトスレバ、敢テ法律ノ表ニ之ヲ書ク必要ガナイト思フ、又條約以外ノモノニ至ラバ、是ノ載テ居ラタキニハ、普通ノ貸貸借デモ取ルノデアリマスカラ、是ハ法律ノ表ニ於テハ、永代借地權ハ相續税ノ課税價格ニ算入セズヲ削除シテ、其取レル取レヌハ他ノ條約ノ規定ニ一任シテ置イタガ、法律ノ軌裁上宜シ、之ヲ削リテ代リ山口君ノ公共團體ノ問題ヲ掲ケタガ大變宜カロウト思ヒマス

(贊成ト呼ブ者アリ)

○政府委員菅原通敬君 永代借地權ヲ、相續税ノ課税價格ニ算入セズト云フ明文ヲ書キマシタノハ、今日外交上ニ關係有テ居ルノデアリマスガ、既ニ御承知ノ如ク、三十四年九月法律第二十九號デ、永代借地權ニ關スル法律ガ出來テ居リマシテ、其中ニハ登錄稅ヲ課税セズト云フコトヲ、既ニ規定シテ居ラレル、ソレデ永代借地權ニ關シテハ、條約上ノ爭ヒニナッテ居リマスル如ク、此借地代ノ外ハ先ヅ課税サレナイト云フヤウナ勢ヒニナッテ居リマスノデ、寧ロ茲ニ掲ケテ他日ノ紛爭ヲ避ケテ置イタガ、宜カラウト云フ趣意カラ出テ居リマスカラ、成ベク保存セラレテ居ル方ガ、宜カラウト思フ

○磯部四郎君 至極御尤デゴザイマスガ、吾々モ其趣意ニ決シテ背ク考ハナイ、去ナガラ成程民法上、日本人間ニ或ハ永代借地權ト云フモノヲ約束スルコトハアルカモ知ラヌ、尤モ法律ノ表デハ、永代借地權ト云フモノハ、五十年ニ減ズルトカ、百年ニ減ズルトカ云フコトハ、民法ノ表ニハサウ云フ規定ガゴザイマス、併ナガラ永代借地權ハ、日本人間デ約束スルコトモ、毫モ法律デ禁ジテナイ、サウ致シマスルト、特ニ唯今ノ政府委員ノ御答ノ趣意ヲ、法律ニ示ストキニハ、或ハ茲ニ外國人ニ關スルトカ、條約國人ニ關スルトカ云フヤウナ文字ヲ極メテ置キマセヌト、日本人間ニ斯ウ云フ約束スレバ、永代借地權ヲ續キ設定スル恐ガアルト思フ、サウシマスルト此コ、ニアル百年ノ永小作權トカ、何トカ云フモノガ、明ニ書イテアリマスケレドモ、若シ之ヲ明ニスルト、日本人間ノ永代借地權ハ、此限ニアラズトカ、何トカ云フ、極ク不體裁ナモノヲ置カナケレバナリマセヌカラ、相成ベクハ、ソレ等ニ就イテハ外國人ニ關スル永代借地權ハ、相續税ノ課税價格ニ算入セズト云フコトヲ、特ニ本法ノ表ニ書イテアリマス、日本人ノ間ニ出來テ居ルモノニモ適用ガ出來ナイ、其結果脫稅ノ手段トシテ、此弊ノアル相續ガ出來テ來ヤウト思ヒマスカラ、此法文カラハ之ヲ削除スルノガ相當デアルト思ヒマス

○政府委員河村讓三郎君 私ハ司法省ノ政府委員デゴザイマスガ、司法大臣モ此案ニハ關係シテ居リマスカラ、其關係ノ分ヲ申上テ置キタイト思ヒマス、唯今磯部君カラ、永代借地權ノ事ニ就キマシテ、日本人間ニ永代借地權ヲ設定シタ時分ニ、課税セヌト云フコトニナッテハ、不都合デアルカラ、之ヲ除イテ置クカ、或ハ掲ケテ置クナラバ、特ニ外國人ノ永代借地權、詳シク云ヘバ條約ニ依ッテ既得權ヲ保障サレテ居ル、外國人ノ永代借地權ニ限ルト云フコトニシテ置クガ宜カラウト云フ、御説デゴザイマシタガ、一言申上テ置キタイコトハ、日本人間ニハ此永代借地權ヲ設定スルトカ、或ハ永代借地權ニ就イテ相續スルト云フコトハ、決シテアリマセヌノデゴザイマス、民法ノ規定ニ依リマス

ト、物權ハ法律ニ定メタモノノ外ハ、設定ガ出來マセヌデ、永代借地權ト云フモノハ、日本人間ニ設定スルコトハ出來マセヌ、ソレカラ外國人ノ有シテ居ル永代借地權ヲ、日本人ガ讓受ケルコトハアリマスケレドモ、其場合ニハ——何年ノ何號デシタカ、今記憶シテ居リマセヌガ、特別ノ法律ガアッテ、所有權ニ變スルト云フコトニナッテ居リマス、決シテ日本人間ニ永代借地權ト云フコトハ、無イト云フコトハ、斷言シテ差支ナイモノト思ヒマス、ソレカラ先刻大藏省ノ政府委員カラ申シマシタ、特別法ヲ以テ、登錄稅ヲ課セヌト云フコトニナッテ居リマスガ、ソレニ就キマシテハ外交上極メテ困難ナ問題ヲ惹起シマシテ、其末遂ニア、云フ法律ガ出來マシタ、是ハ大ニ沿革ノアルコトデゴザイマス、サウ云フ關係モゴザイマスシ、成レベクハ明カニ規定サレタガ、宜カラウト思ヒマスケレドモ、若シ削除シマシタナラバ、ドウカ速記録ニテモ明カニ其趣意ヲ御留メニナッテ、此法律ニ依ッテ條約國人ノ永代借地權ニハ、課税セヌト云フ趣意ヲ十分明カニシテ戴キタイ、サウ致シマセヌト、法律ヲ執行スル當局ノ者ハ、兎角明文ニ拘泥シテ、永代借地權ニ——既ニ登錄稅ノ時ニ、横濱ナドデ其問題ガ起ッテ、大ニ困難ヲ致シマシタカラ、ドウカ其邊ハ能ク御考ヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員長立川雲平君 サウスルト、此永代借地權ハ相續税ノ課税價格ニ算入セズト云フ條項ヲ削リテ、其アトニ山口君ノ云ハレタ「公共團體又ハ慈善事業ニ對シテ爲シタル贈與ハ課税價格ニ算入セス」ト云フ、磯部君ノ御論デスガ、之ニ御異議ハアリマセヌカ

○阿部德三郎君 私ハ寧ロ此永代借地權ハ、相續税ノ課税價格ニ算入セズト云フ議案ハ、其儘ニシテ置キタイト思ヒマス、外國人ノ間ニ於テ適用サレルモノデ、日本國民間デハ永代借地權ハ、民法ニ於テ認メテナイデアリマスカラ、ヤハリ此儘デ宜カラウト思ヒマス

○委員長立川雲平君 ソレデハ一ツ、別々ニ極メマス、永代借地權ノ一項ヲ削ルト云フ磯部君ノ御論ニ御同意ノ諸君ハ、起立ヲナサイ

起立者 少數

○委員長立川雲平君 少數デス、ソレデハ其次ヘ一項ヲ設ケテ、公共團體又ハ云々ト云フ、山口君ノ御提案ニ御同意ノ諸君ハ、起立ヲシテ下サイ

起立者 大多數

○委員長立川雲平君 大多數デスカラ、之ニ決シマス

○磯部四郎君 山口君ノ案デハ「一年以内」ト云フ文字ヲ取ルト云フノハ、イケナイト思ヒマス、何トナレバ無論一年ノモノニ限ッテ仕舞フノデスカラ、當然デアラウト思ヒマス

○委員長立川雲平君 サウデス

○磯部四郎君 第八條ノ率モ、既ニ此庶子私生子ニ關スル、部分ヲ削減シタ以上ニハ、尙ホ大躰ノ最も多クアルコロノ、即チ此家督相續カラ、凡テノ相續ニ付テノ率ヲ減ジテ行クト云フ事柄ハ、殆ンド此案ノ大躰ノ趣意ヲ損シテ仕舞ッテ、且ツ政府ノ豫算ニ、關係有ツモノデアリマセウシ致シマスカラ、ドウカ今一應採決サレテ、即チ元ノ通ノ率ヲ存シ置カル、ヤウニ、願ヒタイト思ヒマス

○政府委員菅原通敬君 唯今第八條ヲ再議ニ附セラル、ト云フ、御發議カゴザイマシ

タガ、甚ダ満足ニ思ヒマス、就キマシテハ獨リ稅率ノ變更ニ止マリマセズ、先ニ御廢シニナタル、直系卑屬ノ間ノ區別ヲ、復活セラル、コトヲ望ミマス、嫡出子ト又ハ庶子私生子ノ間ニハ、自カラ順序ガアリマス、既ニ遺產相續ノ場合ニ於キマシテハ、其相續分ニモ移動ガアルト云フヤウナコトデ、既ニ民法ニ於キマシテハ、其關係ノ同シカラザルコトヲ認メテ居リマス、隨テ相續財產ヲ受ケマスニ就キマシテモ、嫡出子ガ受ケタル時ト、庶子又ハ私生子ガ受ケタル時トハ、其觀想ガ違ヒマス、其間ニ稅率ノ區別ヲ設ケテ置クト云フコトハ、相當ナコトデアラウト思ヒマス、何卒元ノ通、復活セラル、ヤウニ、御再考ヲ願ヒマス

○委員長立川雲平君 此第八條ヲ再議ニ附スルト云フ、磯部君ノ御意見デアリマスガ、之ヲ再議ニ附スルト云フコトニ、御異議ハアリマセヌカ

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○委員長立川雲平君 御異議ガナイヤウデスカラ、第八條ハ再議ニ附スルコトニ致シマス

○北村左吉君 是ハ交渉ノ一條件トモナッテ居ルコトデアリマス、故ニ遺憾ナガラ磯部君ノ說ニ贊成ヲ致ス次第デアリマス、其他ノ部分ニ付イテ、政府委員ノ御説明モアリマスケレドモ、之ハ否認ヲ致シテ宜カラウト思ヒマス、デ理由ハ前ニ縷々議論ノアッタコトデアリマスカラ、今又茲ニ贅辯ヲ費サナイ、此部分ニ付イテノコトノ金額ハ、極メテ聊カナモノデアリマスカラ、交渉ノ條件等ニ影響ヲ及ボスモノト、認メナイデアリマス

(「採決ヲ希望シマス磯部君ノ說ニ付イテ」ト云フ者アリ)

○委員長立川雲平君 磯部君ノ說、即チ率ヲ減ズルト云フ前議ヲ繰シテ、原案ノ通リニスル說ニ、御異議ハアリマセヌカ

(「委員長原案ノ通りチヤアリマスマイ」ト呼フ者アリ)

○委員長立川雲平君 ソラ違フ、稅率ト云フハ無論ノコトデ

(「異議ナシ異議ナシ」ト云フ者アリ)

○委員長立川雲平君 ソレデハ磯部君ノ御意見通り決定ヲ致シマス

○漆昌巖君 此チヨット政府委員ニ御尋ネシマスガ、此地土權ノ何デゴザイマスナ、此價格デゴザイマス、チヨット性質ヲ伺ッテ置キタイデスガ、之ハ甲ヨリ乙ガ借リマス、甲ノ地主カラ乙ガ借リル、借リル時分ニ地上權ヲ賃貸スル時分ニ、期間内ヲ廉ク借リル爲メニ、相當ノ地上權利ト云フモノヲ拂ッテ借リルモノモアル、唯ダ當リ前合意ノ契約上ニ付イテ借リルモノモ、サウ云フ價格ヲ出シテ借リルノ地代ガツレガタメニ廉クナッテ居ル廉クナッテ居ルニモ拘ハラズ、此稅ヲ今度拂ハシナラヌト云フコトニナル、其地代ノ何位ト云フ、サウ云フヤウナトキニハ、之ハ別ニ算入法ノドウト云フコトハ……

○政府委員菅原通敬君 地上權ノ目的タル土地ノ賃貸價格ト申シマスノハ、地上權者ガ地主カラ借リテ居ルトキニ拂ウ價格ノ何倍ト云フ意味ジヤナイ、其土地ガ餘所ニ賃貸スルトキニ、何レ程ノ價格ヲ拂ウベキモノデアルカ、賃貸セラルベキモノデアルカ、何レ程ノ價格ヲ以テ契約サルベキモノデアルカ、其價格ヲ積ッテ、其價格ノ何倍ト、斯ウ云フコトニナル

○漆昌巖君 サウスルト、尙ホ御尋ネシマス

○委員長立川雲平君 ドウデス、ソレハ本會議デ質問シテハ——濟ンデシマッタノデス

カラ
○漆昌巖君 ソレジャ止シマセウ
○委員長立川雲平君 ソレデハ相續稅法案ハ、是デ決シマシタ、登錄稅法中改正法律案、之ハ午後ハイロく差支ガアルヤウデゴザイマスカラ、又兩三日ノ中ニ開クコトニ致シマセウ
(「ザットヤッデシマッデハドウデゴザイマス」又ハ「譯ハナイジヤアリマセヌカ」ト云フ者アリ)

○委員長立川雲平君 ソレデハ登錄稅法中改正法律案ノ委員會ヲ開キマス、御質問ノアル諸君ハ、此際御質問ヲナサイ
(「能ク分ッテ居ルカラ質問ハナイ」ト云フ者アリ)

○木村格之輔君 鑛業法ノ委員會ガ濟ムマデ延期シテ置キタイ、關聯シテ居ルモノデ、彼方モ本ニナッテ居ル
(「其方ガ宜カラウ」ト云フ者アリ)

○委員長立川雲平君 ソレデハ委員會ハ是デ決シマス
午前十一時十六分散會